

公表:令和1年 11月 20日

事業所名 児童発達支援事業 めだかのいっぽ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点または課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<b>課題点</b> 兄弟の人数が多い時には狭くなる。これまでと同様に席が多い時には兄弟は利用児の後ろに座ってもらう、活動は利用児優先で後で時間をとってやってもらうなどの対応をしていく。怪我に注意する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			<b>課題点</b> 公園など屋外に出た際は、事故を防ぐために職員同士や保護者と声を掛け合ったり、囲われて安全が確保されている砂場は職員の人数を減らして他の遊具や出入り口付近に付く職員を配置するなど工夫していきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			<b>課題点</b> 床のマットが劣化してきているため、改修予定。タオルハンガー、水回りに対応が必要のため環境改善に努めていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		<b>課題点</b> 第三者の評価は行っていないが、保護者・職員・法人管理職の意見をもとに業務改善を行っていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			<b>工夫点</b> 今後もツールとして利用しているものを随時検討・改善していきながらより確かなアセスメントと支援計画作成につなげていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			<b>工夫点</b> 個別支援計画の中に発達支援以外に、次の集団や医療へのつながりを支援できるよう項目を設けている。

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			<b>工夫点</b> 毎日・毎月のミーティングで一人一人の様子について話し合い、支援計画をもとにその時々の様子に応じて職員間で統一した支援を行えるようにしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<b>課題点</b> 活動内容を見直していく。繰り返しも大事だが新たな課題にも挑戦できるようにしていく。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			<b>工夫点</b> 本事業所を主としている利用児に対して集団活動以外に個別療育を行っている。個別支援計画の中に個別療育の目標を設定している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<b>課題点</b> 勤務の終了時間が違ったり、片付けや記録、個別療育にあたるなどそれぞれの業務を引き続き行っており、集まって振り返りを行うことが難しいため共有ファイルを活用し記載することで情報を共有する。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			<b>工夫点</b> 市役所子育て相談課の方にご協力いただき、就園や就学に関する勉強会を開催している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				<b>工夫点</b> 保護者や園の要望を受け、幼稚園訪問を行っている。訪問の報告書で保護者や園とフィードバックして今後の支援につながるようになっている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				<b>工夫点</b> お子さんの状況によって必要な時には学校に情報提供・情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				<b>工夫点</b> 地域療育センター事業所支援に申し込みをされたお子様を対象に地域療育センターからの助言を受けて支援に活かせるようにした。

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			<b>課題点</b> 障がいのない子供とかかわる機会として、兄弟保育の受け入れや法人事業への参加、事業所内で行われているNPO法人活動のおもちゃ図書館がある。保育園や幼稚園の交流に関しては保護者のご要望に合わせて方法を考えていきたい。
	㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		<b>課題点</b> 同法人の相談支援センター職員が参加している。機会があれば同席できるようにする。
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	<b>課題点</b> 昨年度は実施したが今年度は実施できていないため、今後実施できるようにする。
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉚ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			<b>工夫点</b> SNSの掲載の禁止や活動中のモバイルカメラ機能の利用についてなど、事前にきちんとした説明ができるようにしていく。
	㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			<b>工夫点</b> パザーやずくぼんじょ(ジャガイモ堀り)を行っている。
非常時	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			<b>課題点</b> マニュアルはあるが、保護者向けの説明を行っていないため、今後周知をしていく。

等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<b>課題点</b> 年2回実施している。登園する曜日によって訓練に参加できない家庭もあるため、訓練の予告や報告もしっかり行っていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		<b>課題点</b> 既往歴や服薬の確認はあったが予防接種についての確認をしていなかったため入園前の個人票に項目を入れて把握できるようにする。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		<b>課題点</b> アレルギー対応は行ってきたが指示書の提出を保護者に依頼したことがなかった。指示書を活用してアレルギー対応を行っていく。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	<b>課題点</b> 契約時に利用規約で身体拘束はしない旨を保護者と読み合わせしているが、支援計画には記載がなかったため記載し周知する。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。